

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間

毎年11月12日から25日は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

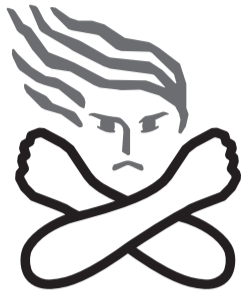
夫やパートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアルハラスメント、ストーカー行為などは、女性の人権を著しく侵害するものであり、決して許されるものではありません。

また、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題でもあります。

市では、毎月第1・第3木曜日に、専門の女性カウンセラーによる「女性の悩み相談」を実施しています。(詳細は本紙11ページ参照)。また、DV被害者が緊急に避難する際の金銭的支援も行っています(要相談)。

千葉県で各種相談窓口を設けていますので、一人で悩まず、ご相談ください。

【県の相談窓口】《女性専用》



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

●女性サポートセンター(☎043-206-8002) ※365日24時間電話相談可。

●千葉県男女共同参画センター(☎04-7140-8605)。

●印旛健康福祉センター【DVのみ】(☎043-483-0711)。

《男性専用》 千葉県男女共同参画センター(☎043-285-0231)。

※相談方法、日時などの詳細は、各機関でご確認ください。 子育て支援課子育て支援班(☎内線246)。

『気づくのはあなたと地域の心の目』

11月は児童虐待防止月間です

児童虐待は、子どもの心身の発育、発達に深刻な影響を与え、時には子どもの生命さえ奪う著しい人権侵害であり、社会全体で早急に解決すべき重要な課題です。

わたしたちは、児童虐待を防止し、一人ひとりの子どもがかけがえのない存在として、安全で安心して自分らしく育っていくことができるよう、取り組みを進める必要があります。

【子どもを虐待から守る5カ条】

- ①「おかしい」と感じたら迷わず連絡(通告)
②「しつけのつもり…」は言い訳
③ひとりで抱え込まない
④親の立場より子どもの立場

⑤虐待はあなたの周りでも起こりうる

児童虐待の早期発見には、地域の力が大切です。「もしかして…」と思ったら下記へご相談ください(通告した人の秘密は守られます)。

【通告・相談窓口】

- ◆児童相談所全国共通ダイヤル(管轄する児童相談所に接続) ☎0570-064-000
◆千葉県中央児童相談所(印西市を管轄する児童相談所) ☎043-253-4101
◆市家庭児童相談室 ☎④5180
☎子育て支援課子育て支援班(☎内線244)。



▲大木弘氏



▲青山光男氏

教育委員会委員・委員長 教育長を新たに任命

市では、9月市議会定例会の同意を受けて、10月1日付で教育委員会委員に青山光男氏(中田切)ならびに大木弘氏(小林)を任命しました。 青山氏は、中央大学文学部を卒業後、西の原中学校校長、白井市立大山口中学校校長などを歴任されたほか、退職後も社会教育委員を務められ、長年にわたり、教育振興ならびに地域の青少年の健全育成に尽力されています。 また、大木氏は、東京理科大学理学部物理学を卒業後、印西市教育委員会教育部学校教育

裁判員制度

～名簿記載通知を発送～

裁判員制度は、平成21年5月21日から施行され、平成23年には8,815人が裁判員として裁判に参加。判決が言い渡された裁判員裁判は1,442件です。

平成25年の裁判員候補者名簿に登録された人には、11月中旬に名簿に登録された旨の通知が送付されます。この通知は、平成25年2月ごろから平成26年2月ごろまでの間に裁判員に選ばれる可能性があることを事前にお知らせするものです。実際に、裁判員となる場合は、別途通知されます。

【調査票】

裁判員候補者の事情を早期に把握し、明らかに辞退が認められる場合は、裁判所にお越しいただくことのないよう、通知とともに辞退希望の有無・理由を

確認するための調査票を送付します。

【裁判員候補者名簿とは】

裁判員候補者名簿は、市の選挙管理委員会が選挙人名簿からくじで無作為抽出した名簿を基に、全国の裁判所で作成されます。

【裁判員裁判に参加して】

平成23年度の裁判員裁判参加者へアンケートを行った結果、参加前は、51.8%の人が「やりたくなかった」「あまりやりたくなかった」と回答していましたが、参加後は、95.5%の人が、「非常によい経験と感じた」「よい経験と感じた」と回答しています。

※詳しくは、ウェブサイト(http://www.saibanin.courts.go.jp/)参照。 ☎千葉地方裁判所事務局総務課(☎043-222-0165)。

シリーズ・心の道標④

「突然あなたが自殺を打ちあけられたら」

☎社会福祉課障害福祉班(☎内線268)

この時あなたは、その人にどのような言葉をかけますか? 「どうして?」「なんで?」「何があったの?」「そんなこと言わないで、何とかなるわよ」「いのちを粗末にはいけないよ」...説得したい、どうにかしたいという感情からの言葉をかけたいことはごく普通の反応です。また同時に、自分の一言で親しい人を死へ追い詰めてしまうのではないかと恐怖心を持つこともあるでしょう。

私は、自殺の研究・自殺相談の相談員をしています。自殺を打ち明けられた場面では「TALKの原則」というものを用いて対応にあたります。

T: Tell その人のことを真(しん)から心配していることを、言葉に出して伝えます。「あなたのことを、とても心配しています」「大変なことを、よく打ち明けてくださいましたね」などと伝えます。

A: Ask はっきりと「自殺をすることまで、考えていますか?」とさりげなく尋ねます。誠実な態度で尋ねるのであれば「死の問い」は決して危険ではなく、むしろ、自殺の危険を評価する第一歩になり自殺予防につながります。

L: Listen 「死にたいし、生きたいし」といった絶望感に満ちた訴えを、ただ、ただ、聴き役に徹して、感情に共鳴します。

K: Keep safe 少しでも危険を感じたなら、その人の安全をまず確保します。その人を決して一人にしてはなりません。安全を確保した上で、適切な援助が受けられるように働きかけをします。「自殺しないと、約束してほしいです」など「死なない約束」もとりつけます。

この原則の実行にあたり、ラポール(RAPPORT)が必要となります。ラポールは仏語で、親和や共感的関係という意味があります。「相手と向き合って、心を合わせていくこと」が一番大切であるとわたしは考えております。

著: 成田地域生活支援センター 尾内保之氏(精神保健福祉士)

大澤和夫氏(造谷)が 総務大臣表彰受賞



去る10月3日、平成24年度行政相談員総務大臣表彰式において、印西市行政相談委員大澤和夫氏が、総務大臣から表彰されました。

大澤氏は、平成9年4月1日から15年間、旧印旛村時代から行政相談委員の職にあり、行政相談委員としての業績が特に顕著で、国などが取り扱う行政に関する苦情の解決に多年にわたり尽力し、その業績が他の模範とするに足りると認められ受賞をされました。 大澤氏には、今後も引き続き、行政相談員として、市の合同相談で、行政に関する苦情やトラブルの解決についての相談受け付けをご担当いただきます。 なお、毎月開催している合同相談の日程については、本誌11ページ(毎月1日号)をご覧ください。

庁内人事

10月19日付けの部長級の人事異動は次のとおりです。()内は前職。
総務部参事II部長級II・印西地区環境整備事業組合派遣: 岩崎良信(健康福祉部長)
企画財政部長: 高島一郎(印西地区環境整備事業組合事務局長)
市民部長: 穴倉正勇(総務部長)
健康福祉部長: 高橋定一(農業委員会事務局長)
農業委員会事務局長II部長級II: 中澤浩二(企画財政部長)。